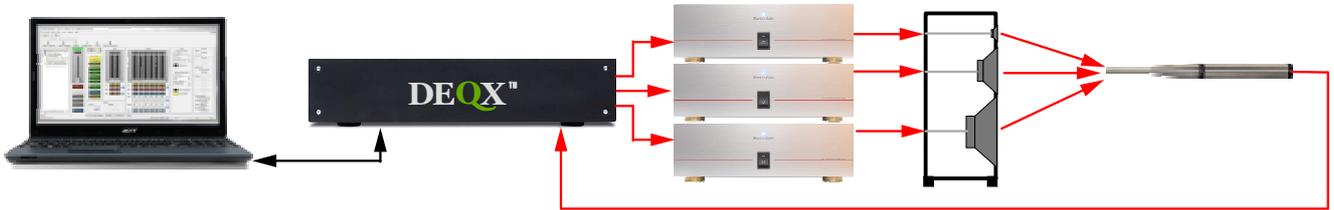


# DEQXの仕組み

## ■ 音が良くなる理由 - その2「マルチアンプ方式」



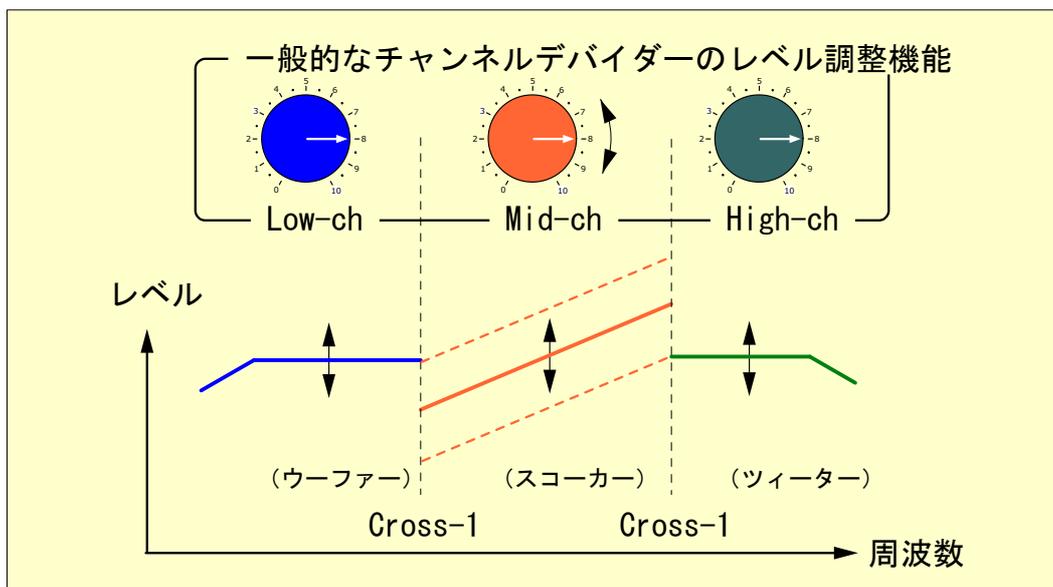
<理由-2>

DEQX+マルチアンプ方式でスピーカー再生の理想を実現

1. 必要悪とも言えるLCネットワークを使用せず、SPユニットとアンプを直結
2. 特定の帯域のみを増幅するアンプは混変調歪みも激減し、余裕の動作
3. 世界中から選び抜いたSPユニットとアンプで構成できる自由度と達成感
4. 住居空間に合わせたサイズや構成が選択できる、無限のバリエーション
5. DEQXが複数のSPユニットを理想のフルレンジユニットにチューニング

<従来方式が抱えてきた問題点>

- ・ 従来のマルチアンプ方式は、SPユニットの特性に依存するという大きな弱点があった。
- ・ 個々のSPユニットの特性 (特に周波数特性) がフラットであれば各帯域のゲイン調整で全体のバランスを取ることも可能だが、多くの場合この期待は裏切られることになる。
- ・ その結果は[図1]のようにレベル調整のみでは永久にベストバランスに到達しないという問題を内在する仕組みとなっていた。



[図1] 3Way マルチアンプシステムの課題  
(ユニットの特性とレベル調整の関係)